

2021 年度中東☆イスラーム教育セミナー（第 17 回）

日時：2020 年 9 月 16 日（木）～19 日（日）

オンライン開催

山中里紗（東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士前期課程）

学部時代より当セミナーの名前を聞いたことがあり、機会があれば参加してみたいと考えていました。いざ大学院生になると、感染症流行下で他の研究者の方々と知り合い、話を聞く機会を取りにくい状況でした。研究者の方々や他の学生の研究内容をお聞きし、またイスラームに関わる研究をしている方々との交流の機会を持ちたいと思い、当セミナーに参加しました。ただ、自身の研究の進捗を発表できる段階になかったことから、今回は他の参加者の方の発表を聞くのに専念しました。

研究者の皆様のレジュメの発表、ポスター発表、質疑応答を聞き、発表・質疑応答の手順を学びました。専門外の地域・分野の発表が多かったとはいえ、発表者の方々の発表をお聞きして初めて知ることが多く、発表者の皆様の知識量の多さ・研究への熱意に終始圧倒されていました。その発表に対して学生、先生方が鋭い指摘をするのを見て、イスラームと関係のある地域・事柄についての、自身の知識・視点の足りなさを痛感しました。例年より参加者・発表者数が多かったとお聞きしていますが、発表時間が少し短かったのか、発表時間内に発表者の方々が話し尽くせていない場面を多く目にしました。次回以降、1つのセミナー会場での発表者数を制限して 1 人当たりの発表時間を長めに取り、発表希望者数が多い場合はセミナー会場を複数に分け、聴衆は会場を移動できるようにするといった工夫が取れるのではないかと考えました。

今回はオンライン開催であったため、参加者の皆様に直接お会いして軽食を片手にお話できなかったのは残念でしたが、オンラインとはいえ参加者の方とお話しできたこと、関東近郊以外にいる学生達とも繋がりを持つことができたことを嬉しく思います。セミナー後も Zoom を開放してくださり、Zoom 上で他の学生達と雑談する時間がありました。学生生活、留学、旅行、研究と関係する機関の話など、色々な話をお聞きし、楽しい時間を過ごしました。私の研究対象地域は中央アジアにあり、研究者数は少なめだと思いますが、数人の方が研究対象地域に興味を持ってくださり嬉しく思いました。しかし、現地に滞在した時の記憶と正確とは言い切れない知識で話した事柄もあり、改めて研究対象地域への知識を盤石にしたいと思いました。

感染症流行下で他の院生、研究者の方と交流する機会が少ない中、研究者の方々の発表を聞いたり交流したりする機会を得られて良かったと思います。今後、何らかの機会があれば発表する側に回りたいです。中東☆イスラーム教育セミナーに関わられた皆様へ感謝申し上げます。